

日本気象協会、FF パートナースhip協定を結ぶ豊島区へ 防災教育絵本「ぼうさいスイッチ」を寄贈

一般財団法人 日本気象協会（本社：東京都豊島区、理事長：長田 太、以下「日本気象協会」）は、2020 年 9 月 1 日（火）に、FF パートナースhip協定を結ぶ豊島区へ防災教育絵本「ぼうさいスイッチ」を寄贈しました。



（左から）豊島区 高野之夫区長、日本気象協会 理事長 長田太、豊島区教育委員会 金子智雄教育長

園児や小学低学年の子どもを対象とした、防災教育絵本「ぼうさいスイッチ」は、大雨などで気象災害の発生が予想されるとき、気象情報や周囲の状況をもとに事前に決めておく日常生活を避難行動に移すスイッチ（きっかけ）を考えることをテーマとした絵本です。日本気象協会は、防災の日である 9 月 1 日に、豊島区立の図書館、小学校、幼稚園、保育園に贈呈を行いました。

FF パートナースhip協定（FF※協定）とは、豊島区の掲げる「わたしらしく、暮らせるまち。」を基本コンセプトに、子育て支援、健康増進、働き方改革、防災など分野ごとに行っていたさまざまな公民連携・協働を包括する形で、パートナースhip協定を企業と締結するものです。豊島区と企業がお互いの強みを生かしたノウハウやリソースを活用して、住みやすく、働きやすい、誰もが自分らしく暮らせるまちを目指していきます。

なお、日本気象協会は 2018 年 6 月 11 日に FF 協定を締結し、豊島区で開催するイベントへの協力や「としま scope」へのコラム連載、豊島区広報番組「としま情報スクエア」への出演などの情報発信を続けています。

2020 年に創立 70 周年を迎えた日本気象協会は、今後も気象コンサルティングサービスのパイオニアとして、未来を担う次世代の方々や子供たちへの防災知識の普及啓発活動を続けていきます。

※FF とは、Female/Family Friendly（女性/ファミリーにやさしい）の略です。